

2022年3月3日

社会医療法人新潟勤労者医療協会

理事長 五十嵐 修

新潟民医連労働組合

執行委員長 樋口 和之

緊急声明

ロシア政府によるウクライナ侵略に断固抗議し即時撤退を求める

2022年2月24日、ロシア・プーチン政権はウクライナに対して一方的に軍事侵攻を行った。すでに子供を含む多く民間人の死傷者がでており、わたしたち新潟勤労者医療協会並びに新潟民医連労働組合は、このウクライナに対する軍事侵攻に対し満身の怒りを込めて断固として抗議するとともに、直ちに侵略を中止し、撤退することを強く求める。

戦争は罪もない人々の命を奪い、貧困を大規模に生み出す最も愚かな行為であり、各国および日本国政府に対し、国連憲章と国際法に基づいて紛争の平和的解決の努力を行うこと強く求める。また、プーチン大統領は、ロシアが核大国であることを誇示し、核兵器使用の可能性を示唆しており、広島、長崎の惨禍を経験した日本国民として発言の撤回を求める。

国内においては、戦争反対の声を冷笑し、憲法9条改悪や「核兵器シェアリング」を主張する勢力もいるが、突き詰めれば「武力・暴力」により支配を容認、追求するものであり、力の論理で行動するプーチン政権と同じ立場であり、厳しく糾弾する。

私達は世界の反戦平和を求める人々と連帯し、「人類の生命と健康を破壊する一切の戦争政策に反対し、核兵器をなくし、平和と環境を守る」ことを改めて確認し、断固としてたたかい続けることを表明する。

以上